

令和2年3月2日

患者様各位

## 新型コロナウイルス感染症に係る当院の対応について

今般、厚労省より「新型コロナウイルス感染症に対する考え方」が示され、下記の通り当院の患者様に対する対応を決定した所です。

つきましては、皆様が下記に該当する場合は、速やかに電話でご連絡いただきますよう、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。なお、ご不明の点等ございましたら当院までご連絡いただけましたら幸いです。

### 記

#### 1 新型コロナウイルスに感染した場合等の取り扱いについて

##### (1) 感染した場合

検査の結果、陰性であることなど他の患者様に感染することがない状態に回復するまでの間、ご来院ご遠慮願います。

##### (2) 濃厚接触者である場合

症状の有無により次の㊦または㊧の通りとします。

<濃厚接触者>

①同居者が新型コロナウイルスの感染者である場合

②同居者以外の新型コロナウイルス感染者と14日以内に濃厚接触した場合

##### ㊦ 感染が疑わしい症状のある場合

発熱(37.5度以上)、咳等の風邪の症状がある場合、検査の結果陰性である事等他の患者様に感染する事がない状態に回復するまでの間、来院をご遠慮願います。

##### ㊧ 感染が疑わしいが症状のない場合

発熱等の症状がない濃厚接触者である場合、新型コロナウイルスの潜伏期間を勘案し、接触後14日を経過するまでの間来院をご遠慮願います。

##### (3) 前(1)および(2)に該当しないが感染の疑いがある場合

発熱や咳等の風邪の症状があり、次の①②の症状がある場合、検査の結果陰性であることなど他の患者様やスタッフに感染することがない状態に回復する迄の間、来院をご遠慮願います。

①風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている(解熱剤を服用し続けなければならないときを含む)

②強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

#### 2 当院の対応について

- (1) 当院においては、新型コロナウイルス感染症の件以前より、兼ねてから、院内感染防止には尽力しており、患者様一人一人に対する治療器具のオートクレーブ滅菌（2気圧132℃にて、いかなる細菌やウイルスも死滅する方法）しております。
- (2) 治療用ユニットチェア、タオル、エプロン（使い捨て）グローブも患者様一人ずつその都度交換を徹底しております。
- (3) 1に掲げた様に、新型コロナウイルスに感染した患者様のご来院がない事が基本ですが、万が一確認された場合でも、院内感染が起こらないようスタッフ一同がより配慮致しますので、患者様におかれましてもご協力お願い致します。

### 3 中長期的な考え方、対応について

- (1) 今回の新型コロナウイルスに関しては、中国においても未だ終息の予兆はなく、中長期化する懸念もございますが、今までのデータより自己免疫力のある方に関しては、重篤化しない報告があります。
- (2) その事例より、口腔内衛生環境の向上が、口腔内雑菌を清掃する事により細菌が発生するサイトカインの分泌量が減少する事により、自己免疫力が上昇し、インフルエンザになりにくい事は証明されております。  
この事より、新型コロナウイルスに対しても、定期的に清掃し、自己免疫力を高める事をお勧め致します。（2020年3月 参議院予算委員会にて審議済）

<次亜塩素酸水>

	次亜塩素酸	次亜塩素酸ナトリウム	アルコール
除菌・消臭力	◎ 次亜塩素酸ナトリウムの約80倍の除菌力！ノロウイルスにも◎。	○ ノロウイルスにも効果がある。	△ ノロウイルスには効かない。
安全性	○ 人体に害はなし。口臭や虫歯のケアにもOK。	✕ 害がある成分なので、使用には注意が必要。	△ 刺激があり手が荒れる。アレルギーの危険も。
残留性	○ 除菌後は水に戻るなので残留しない。	✕ 残留する。使用後は洗い流さないとダメ。	○ すぐに揮発するので残留しない。
臭い	○ 少し塩素っぽい臭いがする。	✕ 強い塩素臭がする。	✕ 強いアルコール臭がする。
可燃性	◎ 燃えないので、火器が近くに合っても安心。	◎ 燃えないので、火器が近くに合っても安心。	✕ 燃えやすいので、火器の近くでは使えない。

<バイオサニタイザーⅡ>



イギリスの Byotrol 社が研究・開発した除菌・抗菌技術「バ液」です。即効性があり、強力な除菌力を持つだけでなく、乾燥後も除菌効果が持続します。また、生分解されるため、イオトロール®)を使用した、8倍に希釈して使用する除菌液です。即効性があり、強力な除菌力を持つだけでなく、乾燥後も除菌効果が持続します。また、生分解されるため、環境にも配慮しています

備品、ユニット(椅子)の除菌に使用しています

### 院内のウイルス除去

院内散布・拭掃しています



**口の中の細菌がインフルエンザ発症を加速させる**

インフルエンザは、ウイルスが細胞に侵入・増殖・放出を繰り返すことで病気が発症します。

**歯周病菌や歯垢内の細菌**がのど付近に存在すると、このサイクルを手助けしてインフルエンザが発症しやすくなる可能性があります。

**専門的口腔ケア (POHC) でインフルエンザの発症が約 1/10 に抑えられる**

高齢者に対する POHC によるインフルエンザ発症率

POHC 1回	1.0%
POHC 2回	9.8%

**お口の健康はインフルエンザ予防につながります  
歯科健診を受けましょう!**

**ポートサイド歯科医院 院長**